

ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 245



*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の () の数字は請求記号です。)

(問) 戦時中の女性がもんぺを着ていたが、実際に着ている写真やイラストでくわしく紹介している本を教えてください。

(答) 検索端末を利用してキーワード検索をしてみましょう。

検索対象を図書に選択します。

ことばから探す → もんぺで検索 → 168件ヒット



どの本を読んだらよいか迷う場合は、さらにキーワードを増やして検索結果を絞り込みましょう。

ことばから探す → もんぺ 国民服 → 24件ヒット

『日本のレトロ・スタイルブック 1920～1970』(383.1/071 開架一般)

『洋服と日本人』(383.1/157 開架一般)

『昭和世相流行語辞典』(814/Ta33 開架一般)

児童書には絵や写真を多用し、わかりやすい文章で説明した図鑑が多くあります。大人の方もぜひお手にとってみてください。

『写真でみる 太平洋戦争とくらし・道具事典』(210.75/W37/1 開架児童書)

『歴史を知ろう明治から平成 3』(210.6/R25/3 開架児童書)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

昭和の生理用品事情

～戦中編～

最近のニュースで若い女性たちが貧困により生理用品を購入できないという報道がありました。

日本で初めて生理用ナプキン「アンネナプキン」が発売されたのは、今から 60 年前の昭和 36 年(1961)です。生理用ナプキンが使用される以前は、どのような方法で対処していたのかを紹介します。

千葉県学校衛生会が昭和 4 年(1929)に記した『女子の特別衛生 一』(495/C42/1 地下書庫和図書 000063460)では月経の手当方法として以下のように記されています。

清潔を保つために朝夕二回位微温湯で局部を極く軽く洗い(中略)清潔な脱脂綿(畳んであるままの一枚を縦に二つに切りその一つを二つ折にして一回分とし汚れ次第新しいのととりかえます)を当てて外部を覆い、その上に垂麻仁油紙を当て、丁字帯でおさえるか又は月経帯を用います。

婦人雑誌の『婦人倶楽部』や『主婦の友』などでは、さまざまな機会に特集を組み、月経の仕組みやその対処方法、具体的な月経帯の作り方を詳細な図入りで紹介しました。女性達はこの知識を活用したと思われます。『主婦の友 第 24 巻第 4 号(昭和 15 年 4 月)』(051/Sh99/24-4 閉架雑誌 100018033)には「脱脂綿の家庭再生法と代用品の作り方」という記事が以下のように紹介されました。

婦人の毎月使う綿は大変なものでしょう。これを各自で再生したらほんとうにお国のためです。使った綿は、小さい目簾のようなものの中へ入れ、器を定めて水に浸けておきますと血液が溶けて水が真っ赤になりますから、引きあげて今度はカルキ液か石鹼液で煮沸消毒し、後は十分に水洗いします。(中略)それから押し搾って物陰に干し、乾いたら手先で解しておきます。度々再生してぼろぼろになりましたら、布袋に包んで使います。

また、脱脂綿などの衛生綿は昭和 16 年(1941)3 月から配給制になり、13 歳から 45 歳までの婦人は家庭用衛生綿購入券で購入するようになりました。ひと月当たり 1 人 50 グラムが割当られました(『東京市切符制沿革史』『都史資料集成 第 1 1 巻』(213.6/To46/11 閉架一般 000055233)。戦争が激しくなると、脱脂綿でさえ入手できなくなりました。戦中の女性達のつらかった生理事情がわかる体験談を紹介します。

「つらかった戦争中の生理日」(『女にとっての戦争 2』(916/Ka18/2 閉架一般 000052231)(前略)脱脂綿はおろか、紙さえ手に入らなかった戦争末期、私はボロを重ねて刺し子のように縫い、二十個つくった記憶があります。職場のどこへ隠したらいいか、やっと手に入れた油紙に汚物をくるんで、隠し場にきゅうきゅうとしたものです。今日のようなビニール袋など便利なものはなく、粗相をしないようにと常に気を配りました。下宿の洗い場でも人目を避けて洗い、下ばきの中へ入れて、外部から見られないように陰干しにしては、また使ったものです。

(旧仮名遣いを新仮名遣いに改め、旧漢字を新漢字に改めました)

【参考文献】『生理用品の社会史』(598/Ta84 閉架 060008291)

『「モノと女」の戦後史』(367.21/A43 閉架一般 000043395)

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 245

2021 年 6 月 20 日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1